



犬・笑・暮だより vol.16

9月は防災月間 ～災害に備える～



多大な被害をもたらした、東日本大震災の記憶はあたらしのではないのでしょうか。災害はいつ起きるかわかりません。人用の避難袋や家具の転倒防止対策などは一応してあるけれど……というあなたも、愛犬のための災害準備は大丈夫でしょうか？昔から、「備えあれば憂いなし」と言うように、今できることを準備しておきましょう。

まずは普段の生活から、基本的なしつけと心掛け

* 多くの人が集まる避難所

愛犬の行動を飼い主さんがコントロールできるようにしておきましょう。また、ノミ・ダニ予防、ワクチンや狂犬病の予防接種を日ごろからきちんと受けておきましょう。

* 他にもたくさんのペットがいる

避妊・去勢手術をしておくという選択も、準備のひとつ。

* クレートやキャリーに入ることができる？

クレートやキャリーで静かにしていることができれば、避難所によっては一緒に避難出来る可能性も。普段からクレートやキャリーを愛犬にとって安心できる場所にしておきましょう。

* ご近所づきあいは大切に

近所の人に愛犬の存在を知っていただければ、留守中に災害が起こった時も、助けてもらえるかもしれません。

愛犬用非常持ち出し袋を作っておきましょう

* 生活用品

3日分のフードやいつものお水、フードボウル、多めのウンチ袋、トイレシートなど。

* あると安心

普段使用している愛犬の臭いがついたタオル類や敷物などもあると安心です。

* リード・首輪・鑑札・迷子札（身元が分かるもの）

* 「愛犬の健康手帳」

年齢、かかりつけの獣医さんの連絡先、ワクチンの種類や接種日、病歴、常備薬、不妊・去勢手術済みか否か、普段の様子などの情報を記入しておく。自分と一緒に写っている写真などを貼り、携帯電話の番号、緊急連絡先を書いておく。

* 救急セット



Mini Column

巨大地震がおこったらどうすべきか？

花王のもしも？どうする？！ペットSOS

(http://www.kaeo.co.jp/pet/dog/sos/sosdog03/scene_1.html) というサイトでは、もしも、巨大地震がおこったら？どうすべきか！が、クイズ形式でわかるようになっています。

例えば…

【シーン1】避難勧告が出たとき、愛犬をどうする？

1. まず飼い主が先に避難し、落ち着いてから愛犬を迎えに戻る。
2. 非常持ち出し袋を持って、迷わず愛犬と一緒に避難する。
3. 飼い主は避難所へ、愛犬は自力で逃げられるように外へ放す。

答えは…2番です。

災害が発生したら、愛犬との同行避難が大原則。様子を見て迎えに行こうと思っても、火災、余震による家屋の倒壊などの二次災害で助けられないこともあります。

サイトには、詳しい解説、その他にもクイズがあります。

是非クイズをとおして愛犬の防災も考えてみましょう！



愛犬に関するお住まい・お庭のお悩みは **庭遊館** にお気軽にご相談下さい

庭園工事・外構工事・管理・設計施工

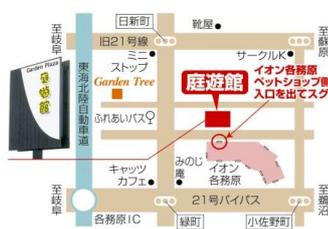
株式会社 庭遊館

〒504-0945 各務原市那加日新町6-65

TEL 058-216-3110

FAX 058-216-3113

<http://www.teiyukan.jp>



携帯サイトはコチラ！！

